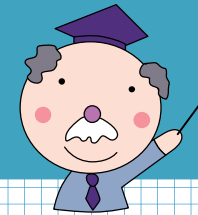


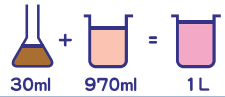

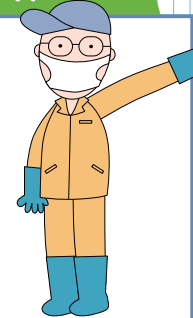
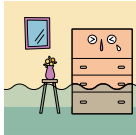

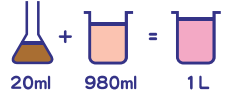
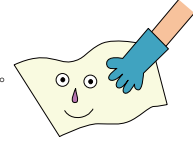


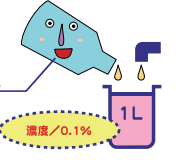


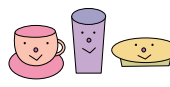

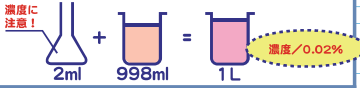


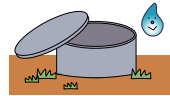

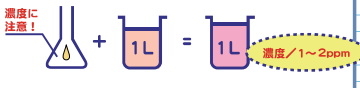
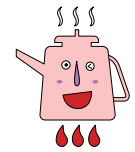


水害時の消毒法



消毒対象	消毒薬	調整方法	使用方法	注意事項
<p>屋外</p> <p>(し尿槽や下水があふれた場所、動物の死骸や腐敗物が漂着した場所、氾濫した汚水が付着した壁面、乾燥しにくい床下)</p> 	<p>クレゾール石ケン液</p> 	<p>クレゾール石けん液30mlに水を加えて1リットルとする。 (液が濁っている場合には上澄み液を使う。)</p> 	<p>家屋の周りは、じょうろや噴霧器などで濡れるように撒く。 壁面は、泥などの汚れを水で落としてから、消毒液をひたした布などでよく拭く。 (または噴霧器を使う場合は、濡れる程度に噴霧する。)</p> 	 <p>取り扱う際には長袖、長ズボンを着用し、メガネ、マスク、ゴム手袋などを使用し皮膚や目にかからないように注意すること。</p>
<p>屋内</p> <p>(汚水に浸かった壁面や床、家財道具)</p> 	<p>オルソ剤 (バンゾール等)</p> 	<p>オルソ剤20mlに水を加えて1リットルとする</p> 	<p>泥などの汚れを洗い流すか、雑巾などで水拭きしてから、うすめた液を浸した布などでよく拭く。 (又は噴霧器で噴霧する場合は、濡れる程度に噴霧する。その後は風通しをよくしそのまま乾燥させる。)</p> 	<p>皮膚についた場合には大量の水と石けんで良く洗い流す。目に入った場合は、水で15分以上洗い流し、医師の診察を受けること。</p>
<p>手指</p> <p>(後片づけなどで、汚染された箇所や土に触れた手指)</p> 	<p>塩化ベンゼルコニウム逆性石けん (オスバン等)</p> 	<p>塩化ベンゼルコニウムまたは塩化ベンゼトニウムとして0.1%の濃度になるようにうすめる。 (10%の製品の場合、本剤10mlに水を加え1リットルとする) いろいろな濃度のもので市販されているので希釈倍率に注意する。</p> 	<p>汚れを石けんで洗った後、流水で石けんを落とし、洗面器などに入れた消毒液に手首まで浸し、30秒以上もみ洗いをする。その後、乾いたタオルなどでよく拭き取る。石けんが残っていると殺菌力が低下するので、よく洗い流す。</p> 	<p>使用する直前に希釈し、希釈する濃度を守ること。</p> <p>他の消毒液や洗剤などと混合しないこと。</p> 
<p>食器類</p> 	<p>次亜塩素酸ナトリウム (ミルトン等 ハイターは界面活性剤が入っているためすすぎが必要です。)</p> 	<p>10%製品を使用する場合は、本剤2mlに水を加えて1リットルとする。 (次亜塩素酸ナトリウムの濃度が0.02%になるように希釈する。)</p> 	<p>食器を水洗いした後、消毒液に5分以上浸し、自然乾燥させる。</p> 	<p>器に移して保管しないこと。</p> 
<p>井戸水</p> 	<p>次亜塩素酸ナトリウム (ミルトン: ハイター:界面活性剤等が入っているため飲料時には使いません。)</p> 	<p>10%製品を使う場合は、水1リットルにつき1滴を加える。 (残留塩素として1~2ppmの濃度になるように調整する。)</p> 	<p>汚染された井戸水は水質検査で飲用可能になるまで飲まない方が安全です。やむを得ず使用する場合は、煮沸してから使う。 (どうしても、飲用に使用する場合は、くみ取った水に1~2ppm濃度になるよう調整した消毒液を入れ、30分以上放置してから飲用する。)</p> 	<p>浄化微生物に影響を及ぼすので、浄化槽には散布しないこと。</p> 